

くつろぎタイム

海の上でゆったりする時も、
スピードを楽しんでいる時も
頭の中は風と波に集中。
ウインドサーフィンが
最高のリフレッシュです。

日本銀行仙台支店 支店長
仙台商工会議所 顧問

そえじま ゆたか
副島 豊 氏

昭和41年2月1日生まれ
佐賀県出身
血液型A型



平成2年京都大学経済学部を卒業後、日本銀行入行。調査統計局や市場局、金融機構局、金融研究所、決済機構局、フランクフルト事務所長など、現場系アナリスト、リサーチノベーターとして活躍。日銀レビエーの前身であるマーケットレビエーや金融システムレポートを創刊。函館支店長を経て平成29年6月より現職。好きな言葉は「日々進化」。

「私は、いわゆる『新しもの好き』です。エンジニア的な技術だけでなく、地形や歴史・文化、映画もテレビドラマも漫画も好きで、楽しそうだと何でも首を突っ込みたくなるんですよ。だから寝ている時間が少ないんです、忙しくて」と笑う。

**ウインドサーフィンが
「趣味とうかがいました」が。**

大学時代、470級という小型のヨットをやっていたその延長で、40歳を過ぎてから始めました。きっかけは「マイホーム」です。鎌倉に家を建てまして、江ノ島辺りはサーフィンやヨットといったマリンスポーツで遊んでいる人がたくさんいるのです。それを見て、「また海に戻ろうか」と思ったわけです。

**筋力がついて、健康管理の
一助にもなりそうですね。**

確かに、始めたばかりの初心者には、安定しないボードの上でセイルを立てたり、風を制御したりするのに、相当筋力が必要で

です。でも、うまくなると、あまり力を使わなくても乗れるようになるので、年齢を重ねても続けられるスポーツなんです。私も休憩しながら4.5時間、乗り続けることがあります。

マリンスポーツは、何かトラブルがあった時に一人では危ないですし、そもそも見よう見まねでできるものではありません。ウインドサーフィンのショップに所属して、スクールに入り、その店をクラブハウスにして道具類を置かせてもらったりするのが普通なんです。若者からご年配の方まで、いろいろな年齢や職業の人が集まってくるのが楽しいですね。

日本のウインドサーフィンのピークはバブル期です。競技人口が多いサーフィンに比べて大分下火になっていました。そこに大震災が来て、宮城のウインドサーフィンはさらに縮小したようです。転勤後、仲間を見つけたのに時間がかかりました。

**ボードに乗っている間、
どんなことを考えて
いるのですか。**

何も考えていません。仕事のこと何もかも、クラブハウスに行く途中ですべて忘れます(笑)。それが何よりのリフレッシュになるのだと思います。

いったん海に出たら集中します。出る前から、天気図や風、潮まわりをしっかりとチェックします。このスポーツには天気図を深く読み込める知識が必要です。やっていると風と波のしっかかりと見ます。風は見えるんですよ。水面の色や形状、遠くを走るヨット、水平線のかたちでいるんなことがわかります。そうしないと吹き飛ばさ

仙台の印象はいかがですか。

来て大げがをするかもしれないし、最悪な場合、命を危険にさらすことにもなりかねませんから。ですので、自分の力量を超えたコンディションの時は、海には出ないようにしています。

ウインドサーフィンの世界最高記録は時速100キロを超えています。中級者になれば時速40〜50キロは出せます。その点でも危険を伴うのですが、このスピード感が魅力でもあります。頭を超す高さの波に乗ることもあります。『怖楽しい(こわたのしい)』とも言います。怖か、怖さも楽しいから続けているところがあります。ドーパミンどくどくです。

**他にも興味を
お持ちのことが
たくさんあるそうですね。**

壮大な野望なのですが、人間がつくった文明や文化、文学、芸術、食べ物、お酒もそうですが、それらをすべて味わい尽くしてみたいと思っています(笑)。技術的なことも好きで、最近はやりの人工知能にも、もう一度トライしています。20年ちょっと前に第2世代のAI技術を使ってAIで金融政策という論文を書きました。今もIT技術やビッグデータを使った分析を続けています。

日銀で働いて27年になります。景気やマーケットの分析、金融機関の経営動向やリスク管理、決済インフラの規制づくりなど、いろいろなことをやって仕事の幅が広がりました。これからは、知的な冒険を続けていきたいです。インテリジェンス・アドベンチャーは続く、です。

商業地が中心にあつて、そこから交通機関が延び、まわりに住宅地がある仙台は、コンパクトシティー化がうまくできているところだと思います。また、着任してすぐ、被災地である荒浜や閑上地区などを見て回ってきました。道路や堤防がだいぶできあがってききましたが、県北を見ていると復興はこれからというところも多く、復興の途上であると思いました。それに加えて、さらに先、復興工事後の仙台・宮城の経済の姿はどんな形になるのか。真剣に考えて今から準備する必要があります。仙台・宮城経済の将来を考える上で、何がしかお役に立てるよう、景気動向や経済構造の分析、日進月歩で進化する金融イノベーションや世界の動向など、さまざまな情報発信をしてまいりたいと思っています。

**最後に、お仕事の近況を
教えてください。**

力を入れていきたいと思っっているのは、やはり「情報発信」です。例えば、中国経済では今何が起きているのか、フィンテックが地域の金融経済に及ぼす影響は、景気回復が所得や物価(企業売上や利益)にどうつながっていく、公共工事や住宅建築の減少がもたらす負のインパクトは。そういった生きた情



平成29年9月、仙台に赴任して初めてのライディングをとらえた1枚。趣味の域を超える迫りに圧倒される。

やがて生まれ来る子供たちのために。

宇宙のオアシス『地球』。ただひとつの、この青い星を守って行かなくてはなりません。
大切な人のために、そしてやがて生まれ来る子供たちのために。
私たちは、よりよい環境をめざし、考えつづけます。



より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全
本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)